

令和2元年度事業計画

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

長野県南信工科短期大学校（以下、南信工科短大）創立4年、振興会設立5年が経過しました。本年度は南信工科短大と振興会との相互研鑽をより強化し、また、魅力ある南信工科短大として、受験者が増加することを目指した様々な事業に取り組みます。

1、役員会・総会

①開催日、場所

- ・コロナウイルス感染予防のため、文書決裁のみで実施

②主な内容

- ・令和元年度実績報告と令和2年度事業計画・予算の決議
 - ・南信工科短大状況報告
- など

2、研修事業

会員企業の人材や南信工科短大生のスキルアップを目的に、技術習得、企業の経営改善などに役立たせるための研修を行います。

1) 技術研修会

会員企業などを対象に技術習得を目的とした講座を実施します。

①3DCAD定着のための「Fusion360一気通貫実践編講座」

開催日 半日×5回

講師 Material工房・テクノフレキス代表 藤崎 淳子氏

②IoT実践から知的財産活用講座（上伊那産業振興会共催講座）

開催日 未定

講師 磯道 善彦、長野県発明協会

③企業の化学物質管理講座

開催日 未定

講師 中村 秋男

④省エネ推進講座

開催日 未定

講師 中村 秋男

2) 社会勉強会

学生を対象に、就職活動の心構えや社会人としての基本を身につけ、当校出身者ならではの即戦力を身につけた学生を育成します。

①1年生対象「企業の一員となるための心構え研修会」

2年生となる直前に企業から求められる人材について学ぶ講座とします。

開催日 令和3年、1月初め

講師 会員企業の人事担当者

②2年生対象「就職直前の新入社員研修会」

卒業間近にした学生に、会社でのマナー、ルール、身だしなみ、心構えなどの、南信工科短大卒業生ならではの基本を身につけてもらいます。

開催日 令和3年、3月
講師 井坪 まゆ美

3、交流事業

南信工科短大のPRと知的財産の地域への還元を基本として、会員、地域住民相互の交流や科学技術の発展、産業振興を図ります。

1) 理工系人材応援教室

ものづくり・科学技術への興味を持ち、進路の選択肢として理工系を目指す子女の増加促進と、南信工科短大への志願者増を目的としたことに特化した活動を行います。コロナ禍のため従来通りには実施出来ない点多々ありますが、諦めることなく、本来予定していた人材ふれあいフェアの趣旨も盛り込みます。

また、一堂に集中して集まることを避け、主としてホームページやケーブルテレビ、YouTubeなどを活用します。

1) -1、実施内容

①南信工科短大の情報発信

- ・南信工科短大の取り組み、イベント、施設、などの情報を発信します。
具体例 南信工科短大の魅力PR、教職員へのインタビュー、在校生・卒業生へのインタビュー、学校紹介、総合課題ドキュメンタリー、企業採用担当者の声、実習・共同研究協力企業の声、南信工科短大振興会の声、卒業研究の紹介、地域貢献活動の紹介、など。

②ものづくり体験教室の配信

- ・様々なものづくりの様子やレシピを映像で紹介する。

③ものづくり企業の紹介

- ・従来人材ふれあいフェアで実施した会員企業のブースの代わりに、各社毎に技術、製品、取り組みを映像などでPRする。

④ものづくり企業／事業で活躍する人材による講演や活動発表。

- ・科学技術の世界で活躍する方々の講演を映像で配信する。
- ・会員企業で活躍する女性が、自分の体験や職場の紹介をする。

⑤ものづくり実体験教室

- ・抽選により人数を限定し、南信工科短大にて実体験する。

1) -2、実施方法

- ①新規制作するホームページ上にて発信する。
- ②ケーブルテレビの番組として編成する。
- ③一部の体験教室は、参加者を少人数募集し南信工科短大にて実施する。

1) -3、実施時期

令和2年7月～令和3年2月を目標とする。

2) 講演会

会員、学生、教員の皆さんに聞いていただきたい講演会を計画します。

①演題 未定

- ・講師
- ・開催日時 10～11月頃

②演題 「イグ・ノーベル賞医学教育賞受賞について」(仮題)

- ・講師 昭和伊南病院消化器病センター長 堀内 朗氏 (希望)

- ・開催日時 11～12月頃
- ③演題 「デジタルモールドの紹介」、「デジタルモールドの実演」
- ・講師 (有)スワニー社長 橋爪 良博氏
- ・開催日時 未定

3) 技術交流会・見学会

会員企業と南信工科短大の共同研究、共同授業に反映されるためのきっかけづくりや、学生への企業PRの場となるよう支援します。

①会員企業見学会

会員企業より会社見学の希望を募り、教員、学生との交流会を実施します。双方の積極的な参加を期待します。

②南信工科短大見学会

南信工科短大の設備や技術の知的財産を会員企業に還元できるように、学校の見学会や教員との意見交換会を実施します。

4、共同授業・研究支援事業

1) 産学共同授業・研究

学生の即戦力をめざし、会員企業の技術、課題などを授業に取り入れるための支援をします。

①デジタルモールド技術のカリキュラム継続

②新しいテーマの募集

・新しいテーマを会員企業より募集し、授業や卒論の課題として取り入れます。(地域の資源を活かすテーマ、企業現場での技術問題テーマなど)

③学生対象社会学講座の支援

・会員企業トップの方々などが講師を務め、学生に企業の取り組みや社会での心構えなどを講義していただきます。10講座程度を予定。

④伊那テクノバレーのエネルギー再生可能地産地消研究会の支援

2) 南信工科短大／高校の共同研究（高大連携）

高校→南信工科短大→社会活動（企業活動）の一貫した流れを意図したカリキュラムを取り入れ、技術のステップと南信工科短大への進学、地域への人材定着の効果を狙います。

①駒ヶ根工業高等学校との連携

②伊那弥生ヶ丘高等学校との連携

③その他

5、卒業者交流支援事業

卒業者間の連携及び学校との交流活動を支援します。

1) OB会発足に向けての準備

OB会発足（目標5期生卒業時）に向けての下準備を継続します。

①卒業時の寄付

準備費として1,000円／人の協力をお願いします。

②卒業者名簿の作成

2) 卒業者参画活動

①卒業者による体験発表と現役学生との交流会

6、南信工科短大への支援事業

様々な南信工科短大の行事、取り組みへの協力をしていきます。

- 1) 学生募集の支援
- 2) 研究補助金支援 目標3件
- 3) 寄付金の募集
- 4) 会員企業研究会への参加
- 5) 学生の成果発表会への参加
- 6) 各種情報の発信（入試情報、行事開催情報 など）
- 7) その他

7、その他

- 1) 会員募集
目標 180会員
- 2) 情報発信、広報活動
 - ・会員への各種情報、案内などの発信、ホームページの更新